

## ◇◆日本画（にほんが）◆◇

～小学校低学年用（しょうがっこうていがくねんよう）テキスト～

### ●えのぐ

えをかくときや、きれいなおてがみをかくときに、いろいろな色（いろ）をつかいたいとおもったとき、どんなものでかきますか？

色（いろ）えんぴつ、クレヨン、サインペン。

それから「すいさいえのぐ」や「あぶらえのぐ」。

日本（にほん）のむかしからのえは、「いわえのぐ」というものでかきます。

これは、みんなはまだ、つかったことも、みたこともないかもしれません。



「いわえのぐ」は、色（いろ）のついた石（いし）をこまかくくだいて、こなにしたものです。

でも、かんたんにわってたたいたものから、ていねいにながいじかんをかけてくだいて、さらさらにしたものまで、ひとつの石（いし）からも、ちがった大きさのつぶのものができます。



そしてその、つぶの大きさによって、色（いろ）のこさ、うすさがかわります。

### ●えのぐのつかいかた

「いわえのぐ」は、石（いし）のこななので、そのままでは、紙（かみ）にぬることができません。

そこで、かみのうえにくっつくように、そのこなを「のり」のようなものとまぜあわせます。その「のり」のようなものを「にかわ」といいます。

「いわえのぐ」のこなを、おさらに入れて、「にかわ」をみず  
ですすめたものをすこしずついれて、なかゆびでまぜます。  
きれいにとけたら、できあがりです。



## ●えをかく紙

おべんきょうのときのノート、えをかくときのがようしやスケッチブック、それらはみな、  
がいこくでかんがえられた紙（かみ）です。

「にほんが」はそういうがいこくの紙（かみ）ではなく、むかしからにほんでつくって  
いた「わし」という日本（にほん）の紙（かみ）にかきます。「わし」のなかまには、しょう  
じやふすまにつかわれているものや、かきぞめをするときの紙（かみ）、「はんし」があり  
ます。

「わし」は、がいこくの紙（かみ）にくらべて、とてもつよく、やぶれにくいのですが、  
えをかくときには、ちょっとこまったことがあります。



そのままだと、えのぐがしみこんでしまって、にじんでしま  
うのです。

そこで、そうならないように、えをかくまえに、「ドーサ」と  
いうえきを、「わし」のおもてやうらにぬっておきます。

むかしのひとは、いろいろとかんがえたのですね。